

## 式辞

学校にとって一年の最後の日となりました。それぞれ各学年の課程を無事修了し、来月には、次の学年へと進みます。みなさん一人ひとりにとって、この一年はどんな年だったでしょうか。嬉しかったことも、つらかったこともあると思います。しかしそれら両面があってこそ 人としての成長があるのだと思います。

先日卒業した3年生の卒業文集にも、そのことについて、書きましたので、少し紹介します。

日進東中学校でのあなたの時間は、どんなものであったのでしょうか。おそらく、ほとんどの人が、楽しかったこともあり、苦しかったこともあると答えるのではないのでしょうか。

そのようにどちらの経験もあることが、実はとても大切な事なのです。苦しいことばかりでは辛いです。逆に楽しいことばかりでも、人として成長していくためにはマイナスの面もあることは、想像できますね。

苦しい時期を乗り越えてこそその幸せもあるでしょう。苦しさから学ぶこともたくさんあるものです。また、楽しく幸せな経験が、次もこうありたいと思わせ、その後の努力につながることも事実です。

このように、人が成長しながら、よりよく人生を送っていくためには、苦楽、ともに必要だと言えます。

さて、現在の若者世代の様子に目を移してみるとどうでしょうか。多くの人は、苦しさにも耐え、そこで学び、幸せな時を得る喜びを知っていると思います。またその幸せな時も、永遠なものではないことも体験から学び取ります。

しかし中には、たった一度や二度のつまずきや失敗で、「もう自分はだめだ」とか、「頑張ったって仕方がない」などと決め付けてしまう人もいます。確かに、いろいろと挑戦しても、なかなかうまくいかない時もあります。これではいけないと、もがけばもがくほど、ますます深みにはまっていくような気持ちになるときが、長い人生の中にはあるかも知れません。苦しいですよ。そんな時こそ思い出してほしいと思います。苦しい時こそ、次の幸せのチャンス。上に伸びられない時は、大地に根っこをしっかりと張りましょう。本を読み、友と語り、美しい景色を眺める。そして大きく深呼吸をして、次の一步が自然に踏み出せる時を待つことです。

というように 一部省略はしてありますが、3年生への贈る言葉としました。しかし、これは皆さん1. 2年生にも、当てはまることだと思います。少々の苦労には負けないぞという、気持ちを持って、4月4日始業式に、期待に胸を膨らませて、登校してきてください。

以上で式辞とします。